

☆ 保護者との教育相談の進め方 チェックシート

保護者との教育相談の進め方について、以下のような留意点があります。自分のこれまでの相談の進め方と比較して、確認してみましょう。

①難しい関係になる前に
<input type="checkbox"/> 何事も生じていない時に、普段から保護者とよい関係を結んでおく。
②連絡の段階から相談は始まる
<input type="checkbox"/> 可能な限り直接会って話し合うようにする。
<input type="checkbox"/> 電話での連絡は時間に余裕をもって行う。
<input type="checkbox"/> 複数の教員で会うときには、学校側の関係者をあらかじめ伝えておく。
③率直に問題を伝える
<input type="checkbox"/> 学校から連絡して来校していただく時は「とにかく来てください」といったあいまいな言い方ではなく、率直に問題を伝える。その際、「～なので心配しています」と、児童生徒の問題解決が目的であることを伝える。
④保護者の労をねぎらう
<input type="checkbox"/> 「雨のなか大変でしたね」などと来校した保護者に労をねぎらう言葉をかける。
⑤時間は長すぎないようにする
<input type="checkbox"/> 1回の相談時間は1時間から2時間の範囲内にする。さらに話し合いが必要な場合は、別な日にするなど時間を空けた方が建設的に展開しやすい場合がある。
⑥プラスの情報・具体的な話
<input type="checkbox"/> 児童生徒についてのプラスの情報を得ておく。理想ではなく具体的な話をする。
⑦まずは保護者の話に耳を傾ける
<input type="checkbox"/> 保護者が自ら来校した時は、保護者の話じっくりと耳を傾ける。
<input type="checkbox"/> より正確な問題を把握するために、相手の許可を得てメモを取りながら聴く。
⑧問題を指摘するとき
<input type="checkbox"/> 学校としてどのようにやっていこうと考えているのか、家庭には何をしてもらいたいかを加えて、前向きな話になるように心がける。
⑨親が口数が少なくうまく表現できないとき
<input type="checkbox"/> 保護者が言ったことを繰り返し言ったり、うまく表現できないものを言語化して整理したりする。
⑩保護者自身に支えが必要なとき
<input type="checkbox"/> 無理やり説得しようとせず、保護者との信頼関係を形成し、安心してもらえるよう心がける。また、保護者以外に児童生徒の問題解決のキーパーソンとなる人を探す。

児童生徒の成長を喜び合える保護者との関係づくりを目指して！

